

服用に際して、必ずこの説明文書をお読みください。
また、必要な時に読めるよう大切に保管してください。

第2類医薬品

鼻炎用内服薬

花粉・ハウスダストなどによる鼻のアレルギー症状に

ジキナ[®]鼻炎錠

◆**ジキナ鼻炎錠**は、抗アレルギー薬「ケトチフェンフマル酸塩」を有効成分とした鼻炎用内服薬です。ケトチフェンフマル酸塩は、「抗アレルギー作用」、「抗ヒスタミン作用」、「抗炎症作用」の3つの作用を有する抗アレルギー薬で、花粉やハウスダストなどによる鼻みずや鼻づまりなどの鼻のアレルギー症状にすぐれた効果を発揮します。



使用上の注意



してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなります。)

- 次の人は服用しないでください。
(1)本剤によるアレルギー症状を起こしたことがある人
(2)15才未満の小児
- 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないでください。
他のアレルギー用薬（皮膚疾患用薬、鼻炎用内服薬を含む）、抗ヒスタミン剤を含有する内服薬（かぜ薬、鎮咳去痰薬、乗物酔い薬、催眠鎮静薬）
- 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないでください。
(眠気があらわれることがあります。)
- 授乳中の人は本剤を服用しないか、本剤を服用する場合は授乳を避けてください。
(動物試験で乳汁中への移行が認められています。)
- 服用時は飲酒しないでください。



相談すること

- 次の人は服用前に医師又は薬剤師に相談してください。
(1)医師の治療を受けている人
(2)減感作療法等、アレルギーの治療を受けている人
(3)妊婦又は妊娠していると思われる人
(4)高齢者
(5)本人又は家族がアレルギー体質の人
(6)アレルギーによる症状か他の原因による症状かはっきりしない人
(7)次の症状のある人 排尿困難
(8)次の診断を受けた人 気管支ぜんそく、アトピー性皮膚炎、てんかん
- 次の場合は、直ちに服用を中止し、この説明文書を持って医師又は薬剤師に相談してください。
(1)服用後、次の症状があらわれた場合

関係部位	症 状
皮 膚	紅斑、発疹、浮腫、かゆみ
鼻	鼻血
精神神経系	めまい、ふらつき、だるさ、頭痛、味覚異常、しびれ感
消化器	悪心・嘔吐、食欲不振、胃部不快感、腹痛、口内炎
そ の 他	動悸、ほてり、頻尿、排尿痛、血尿、残尿感、月経異常、体重増加

- (2) 1週間位服用しても症状がよくならない場合
- 次の重篤な症状がまれに起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

裏面もお読みください。

症状の名称	症 状
中枢神経症状	一過性の意識消失、けいれん、興奮等があらわれる。
肝機能障害	発熱、発疹、全身のだるさ、黄疸(皮ふや白目が黄色くなる)等があらわれる。

4. 次の症状があらわれることがあるので、このような症状の継続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、医師又は薬剤師に相談してください。

口のかわき、便秘、下痢、眠気

5. 次の場合は、医師又は薬剤師に相談してください。
症状の改善がみられても服用期間が2週間を超える場合

効能・効果

花粉、ハウスダスト(室内塵)などによる次のような鼻のアレルギー症状の緩和：
くしゃみ、鼻みず(鼻汁過多)、鼻づまり

用法・用量

成人(15才以上) 1回1錠、1日2回朝食後及び就寝前に服用してください。

年 齢	1回量	1日服用回数
成人(15才以上)	1錠	1日2回 朝食後及び就寝前
15才未満	服用しないこと	

〈用法・用量に関連する注意〉

- (1)定められた用法・用量(必ず1回1錠、1日2回)を厳守してください。
- (2)1週間位服用しても症状がよくならない場合は、直ちに服用を中止し、医師又は薬剤師に相談してください。(個人差等により薬の効果があらわれるまでに2週間位かかる場合もあります。)

〈錠剤の取り出し方〉

右図のように錠剤の入っているPTPシートの凸部を指先で強く押し
て裏面のアルミ箔を破り、取り出してください。

(誤ってそのまま飲み込んだりすると食道粘膜に突き刺さる等思わ
ぬ事故につながります。)

〈PTPシートの取り出し図〉



成分・分量

1日量(2錠)中

成 分	含 量	はたらき
ケトチフェンフマル酸塩	2.76mg (ケトチフェンとして2mg)	花粉やハウスダストなどによるアレルギー症状を抑えます。

添加剤：乳糖水和物、トウモロコシデンプン、結晶セルロース、ステアリン酸Mg 含有

保管及び取扱い上の注意

- (1)直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。
- (2)小児の手の届かない所に保管してください。
- (3)他の容器に入れ替えないでください。
(誤用の原因になったり品質が変わるおそれがあります。)
- (4)使用期限を過ぎた製品は服用しないでください。

お問い合わせ先 株式会社 富士薬品(学術室)
電話 (048) 648-1118 9:00~17:30(土、日、祝日を除く)

製造販売元 **株式会社 富士薬品**

埼玉県さいたま市大宮区桜木町4丁目383番地